

## 5月臨時議会

# 2年間で約33億円、新体育館の建設工事費を可決

市議会5月臨時会が12,13,16日に開催され、新体育館建設工事を含む一般会計補正予算案を審議可決したほか、議長、副議長選挙を行い市議会の新体制を決めました。

新体育館は今年夏頃に市民プールを取り壊し、跡地に9月下旬以降～2018年3月末の工期で、建設工事を進める予定です。すでに、市民プール取り壊しと関連工事費1億543万円は当初予算に計上済みで、この補正予算では、2か年の継続費として新体育館建設工事33億1726万5千円が提案されました。

これまでスポーツ関係者などで構成する建設検討委員会で協議を重ね、2014年3月に基本計画を策定。基本設計、実施設計を経て、いよいよ建設工事が始まります。

資材費の高騰や労務単価の上昇で事業費が大幅に増大。実施設計段階で構造の一部変更など経費を縮小する努力が図られたものの、結果的には総額で40億円に近い大事業となりました。

## 延床面積は1.8倍に、防災拠点の機能も

新体育館は、公式規格のバスケットボールコートが2面とれるメインアリーナ、1面とれるサブアリーナ、スポーツラウンジ、トレーニングルーム、フィットネススタジオ、親子



図は、新体育館の外観イメージ・南面（実施設計より）

リズム室、会議室、他に防災備蓄倉庫も備え、延床面積は現体育館の1.8倍に広がります。

## 借金21億円が主な財源

議案審議で党議員団は、財源となる国補助金が4億5350万円と少なく、21億4770万円もの地方債を充てるため地方債残高が一挙に膨らみ、新体育館建設が市の財政全般に及ぼす影響が大きいことを指摘。

不要不急の事業を削り、市民サービスへしわ寄せしないよう求めました。また、10万人都市・江南に8000㎡の体育館が適切な規模といえるのかを質し、JV（共同企業体）が発注対象となる巨額の工事に、地元業者が参画できるように契約上の配慮を求めました。

## 新ごみ処理施設予定地・・2市2町の問題のはずが北浦地区全体の活用を市で検討？



建設予定地にある民間業者の産廃焼却炉

5月10日の議会全員協議会で、扶桑町小湊区の同意のないまま2市2町新ごみ処理施設の建設地と決定された「中般若町北浦地区」の地主に対する同意取得の方針が市から示されました。

市は今後、5月中旬から6月中旬頃までに、事業への協力の意思を確認するため、地権者86名を戸別に訪問。地主の意向を参考にして、北浦地区7.2haのうち新ごみ処理施設の敷地エリアをどこにするのか案を決定し、第1小ブロック会議に提案するとしています。

新施設に必要な敷地面積は3.4ha前後。ところが市は、北浦地区の残りの土地についても、「北浦一括買い上げを求める」地元要望に従い活用を検討するため、6月議会に、標準地3地点の土地鑑定調査の予算を提案する予定です。

会議で党議員団は、「北浦地区全体の土地活用や周辺対策事業は、あくまでも（2市2町の）第1小ブロック会議が主体となって検討し決定すべき問題。江南市が先走って全体活用や全体用

## 市議会の新体制が決まりました

議長に鈴木貢議員（公明党）、副議長は伊神克寿議員（江南クラブ）を選出しました。

日本共産党議員団の委員会等の所属は次のとおりです。（◎は委員長）

### 東よしき議員

建設産業常任委員会、◎議会改革特別委員会、都市計画審議会

### 森ケイ子議員

◎厚生文教常任委員会、議会広報編集特別委員会  
江南丹羽環境管理組合議会議員、政治倫理審査会

### 掛布まち子議員

総務常任委員会、議会運営委員会  
総合計画審議会（委嘱後）、行政改革推進委員会

なお、市議会6月定例会は6月9日に開会予定です。ご意見、ご要望をぜひお寄せ下さい。

地の買収に言及することがあってはならない。慎重に進めるべきだ」「北浦地区に残存する民間業者の違法な産廃焼却炉を、新施設の建設用地に含めることは、絶対に認められない。」「北浦地区には過去にごみ・産廃等が埋め立てられた疑いのある土地がある。厳密に土地鑑定調査を行う必要がある」と主張。

また、建設に反対する扶桑町小湊区の動向や地元説明の進め方、施設整備検討委員会の進め方についても質しました。

公民館や学供などの有料化、値上げ中止を求める署名にご協力お願いします。5月末までに党議員団へお届け下さい。